

◇会議報告◇

# 米国財務会計基準審議会（FASB）との 第31回定期協議の概要

ASBJ 専門研究員 でん だ 傳田 よういち 陽一

## 1. はじめに

2022年10月10日及び11日の2日間、企業会計基準委員会（ASBJ）は、米国財務会計基準審議会（FASB）との間で、第31回定期協議をノーワークで実施した。ASBJからは川西委員長、紙谷副委員長、山口委員のほかスタッフが参加した。FASBからは、Richard R. Jones 議長、Hillary H. Salo テクニカル・ディレクターのほか、セッションに応じて James L. Kroeker 副議長、Christine A. Botosan 理事、Gary R. Buesser 理事、Frederick L. Cannon 理事、Susan M. Cospser 理事、Marsha L. Hunt 理事及び担当スタッフが参加した。

## 2. 全体のスケジュール

日 時	議 題
初日	近況報告
	現在予想信用損失の適用後レビュー
	のれん
	条件付で決済される可能性のある負債
	ESG 要素に連動する特徴を有する金融商品
	暗号資産
	リース
2日目	グローバルミニマム課税（BEPS2.0）
	財務報告とサステナビリティ報告の境界線

## 3. 議事概要

### (1) 近況報告

FASB 及び ASBJ の代表者の双方より近況報告がなされ、意見交換が行われた。

FASB の代表者からは、次の項目を中心に報告と議論がなされた。

- アジェンダ協議
- 投資家との対話に関する報告書
- 信用損失、リース及び収益認識に関する基準の適用後レビュー
- 直近及び今後の FASB の開発活動

ASBJ の代表者からは、次の項目を中心に報告と議論がなされた。

- 日本における米国基準、IFRS 基準の適用状況
- 日本における企業内容等開示制度を巡る議論について
- 中期運営方針
- 現在の日本基準の開発アジェンダ
- 国際活動
- サステナビリティ報告

### (2) 金融商品における信用損失の測定（現在予想信用損失）の適用後レビュー

FASB の代表者より、金融商品における信用損失の測定（現在予想信用損失）の適用後レビューについて、次の項目の報告と議論がなされた。

- FASB の適用後レビュープロセスの背景
- ステークホルダーからのフィードバックの概要
- テクニカルアジェンダの決定

### (3) のれん

ASBJ の代表者より、FASB 及び IASB のプロジェクトの状況の確認が行われ、のれんの事後の会計処理に関する議論が行われた。

### (4) 条件付で決済される可能性のある負債

ASBJ の代表者より、条件付で決済される可能性のある負債の測定について、ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

### (5) ESG 要素に連動する特徴を有する金融商品

## 国際関連情報

ASBJ の代表者より、ESG 要素に連動する特徴を有する金融商品に関連して、ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

### (6) 暗号資産

ASBJ の代表者より、暗号資産に関する諸論点について、ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

### (7) リース

ASBJ の代表者より、リースについて、以下の論点に関する ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

- セール・アンド・リースバック取引
- 公正価値の開示（リース債権及び使用権資産）
- 使用権資産の表示
- 借地権
- 借手における複合的な条件変更

### (8) グローバルミニマム課税（BEPS2.0）

ASBJ の代表者より、グローバルミニマム課税（BEPS2.0）について、以下の論点に関する ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

- 法人所得税の定義を満たすか
- 未払税金の認識、測定及び表示

### (9) 財務報告とサステナビリティ報告の境界線

ASBJ の代表者より、財務報告とサステナビリティ報告の境界線について、ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

## 4. 次回の予定

次回の定期協議は、2023 年の前半に開催することが予定されている。

FASB オフィスで記念撮影



**FASB** FINANCIAL ACCOUNTING STANDARDS BOARD®

**ASBJ**



**FASB** FINANCIAL ACCOUNTING STANDARDS BOARD®

**ASBJ**